

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		座間市立児童発達支援センター サニーキッズ		公表日		2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		利用児が少ないため、マンツーマンの体制がとれています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		・児童発達支援センター内に設置され、広いスペースが確保されています。 ・内線等を活用し、他職員が柔軟に応援体制が取れるよう工夫しています。 ・子どもの状況に応じて、移動順路を変更するなど工夫をしています。	・排泄援助の際、活動室内でパーテーションを用いているが、男女の区別やプライバシー等を考慮して、トイレや別室使用を検討していく必要があると考えます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		・水回りスペースが部屋の中であり、利用児を観察しながら食事、排泄、活動後の対応ができます。 ・子どもの状況に応じて、座卓と机上など環境を設定しています。	・水回りを他事業と共有しており、清潔保持を職員内で徹底していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		・児童発達支援センター内に設置されているため、状況に応じて複数のお部屋やスペースの選択が可能です。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		・支援検討会議の他、職員間で情報を共有しながら、必要時改善が提案され検討をしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・日常的に情報共有や意見交換できる環境にあります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		・児童発達支援センターとして第三者評価機関による外部評価を受審し、業務改善につなげるよう努めています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		・法人または児童発達支援センターとして研修等を実施し、職員の資質向上に努めています。	・外部研修受講の機会はありませんが、幅広い内容にはなっていません。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・子どもの身近にいる、直接支援を行う職員の情報や意見を尊重しながら個別支援計画作成の検討をしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・関係職員にて個別支援検討会議を実施し、計画に沿って支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・モニタリング時に保護者に確認し、施設内で使用しているアセスメント用紙を作成して計画立案しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			・センター内の専門職が支援に関わる機会があります。 ・利用児の人数が少ないため、集団活動はほとんどありませんが複数利用の時は一緒に行う活動と個別の活動を設定するようにしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3			・子どもの意思を日常的に確認し、支援に反映するようにしています。 ・利用人数が少ないため、子どもの意思を確認しながらゆっくりと活動をして過ごすことができています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3			保護者または学校からの連絡で確認がとれています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		学校や相談支援専門員が主に関わりを持っており、主体的には行っていないが求めがあれば対応に努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3			・近隣のコミュニティーセンターや公園で同年代の子ども達との関わりを持つ機会を作っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1			・児童発達支援センターとして積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			・個別支援計画の面談や利用日の送迎等で、保護者と様子を適宜確認する機会を設けています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		・利用家庭からの求めがあれば、テーマを設定し実施していますが、利用頻度などを鑑みて積極的には行っていません。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・子ども本人の反応を見ながら、活動内容や実施時間の調整を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1		・児童発達支援センターとして各種マニュアルを策定しているが、家族に向けて十分な周知には至っていません。 ・訓練等の実施について、今後計画的に進めていけるよう努めていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	1		・児童発達支援センターとしてBCPを策定し、必要な訓練を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	・現在は食物アレルギー対応の利用児はいないが、必要になった際は保護者からの口頭伝達を基本としています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		・児童発達支援センターとして安全計画を策定し、必要な措置を講じています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	1		・家族への共有については十分ではありません。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		・本体施設が設置する虐待防止・権利擁護委員会に諮り、必要な対応をとっています。	